

●平成 29 年度 JCOMM デザイン賞
仙台市地下鉄東西線各駅周辺散策マップ

仙台市青葉区役所まちづくり推進課
仙台市若林区役所まちづくり推進課
仙台市青葉山まちづくり推進協議会
地 域 の お 宝 探 検 隊
片 平 散 策 マ ッ プ 作 成 委 員 会
仙 台 市 八 木 山 市 民 セ ン タ ー

2015 年 12 月 6 日に仙台市地下鉄東西線が開業した。この地下鉄新線は同市西部の八木山動物公園から中心部・仙台駅を経て同市東南部の荒井まで、路線延長 13.8 km、13 駅の福岡市七隈線と同じタイプの鉄道である。需要予測で開業時利用者約 8 万人/日を見込み、主な利用者は徒歩圏域で多く見込まれている。しかし、地下鉄駅は出入口のみでしか駅を認識できないことから、徒歩による利用者増進・外出率向上に新線の開業前から取り組む必要があった。

そのような課題に有効な MM ツールとして、駅周辺マップは重要である。紙による媒体が基本なので限界もあるが、インターネットによる閲覧も可能で、マップがあることを知りマップを使って散策体験のある人達からの口コミなど、人や IT を介しての地下鉄駅の存在や駅周辺の魅力を認知する方法として高い貢献度が期待できるからである。さらにマップは、掲載情報の更新など、持続性・継続性が求められると同時に、駅周辺のまちづくりに発展することも期待される。

東西線各駅周辺マップは、2014 年若林区役所が東北工業大学の協力を得て 6 駅のマップ作成したことに始まり、現在では仙台駅（巨大交通結節点のため乗り継ぎガイドを仙台市が作成）を除き 12 駅で作成済みである。デザインは、A3 判横四折サイズで揃えながらも、作成主体が行政から地域団体まで様々な関係で、洗練された統一感のあるものから古絵図・物語風の個性的なものまで、多様なマップ群が出来上がった。最近では、川内駅に隣接する東北大学が川内駅・国際センター駅周辺マップを更新し同大学の HP に掲載している。また、青葉山駅周辺マップを作成した地域団体を中心に、フットパスづくりの活動でまちづくりへと歩み始めており、仙台市内外で注目されている。なお、東西線の乗車人員は、需要予測値には未達成だが、着実に増加している。（参考：地下鉄東西線各駅周辺マップは現在仙台市交通局 HP にて掲載中。マップ掲載の交通局 HP の URL→
<http://www.kotsu.city.sendai.jp/subway/news/machimeguri.html>）

－JCOMM 実行委員会から－

個々のデザインに地域性を加味しながら、利用者として使いやすいように情報が厳選されたマップになっており、意匠性、機能性の高いできあがりになっています。特に、区民主導によるまちあるき、マップ構成、デザインなどマップの作成プロセスが巧みにデザインされており、実務的活用可能性に特徴があることから、JCOMM デザイン賞として選定されました。